

# 農畜産プロフェッショナル経営人材育成プログラム

## 令和6年度受講生募集要領

### 1. 目的

地域農畜産業並びに我が国の農畜産業をけん引する農畜産プロフェッショナル経営人材の育成のため、「農畜産業経営を成長産業とする高度な実務的知識と実践力の習得」と「DXによる農畜産業経営の変革に主導的役割を果たしうる総合知の涵養」を人材育成の目的とした履修証明プログラムを実施します。本プログラムにより、北海道十勝地域から世界の農畜産業のトップランナーを担う「農畜産プロフェッショナル経営人材」の育成を目指します。

### 2. 履修証明プログラムについて

履修証明プログラムとは、社会人等を対象に大学等の教育・研究資源を活かし一定の教育計画の下に編成された、体系的な知識・技術等の習得を目指した教育プログラムです。本プログラムでは、各コースにおいて必修科目及び選択科目を合計60時間以上修了した者には、学校教育法 105 条に基づき履修証明書(Certificate)が交付されます。

### 3. プログラムの概要

#### (1) コース・カリキュラムについて

本プログラムでは受講者の知識やスキル、実務経験等に応じたカリキュラム体系とするため、「実践力基礎コース」と「実践力強化コース」の2コースに分けて実施いたします。また、カリキュラムは4つの科目群から構成され、導入科目の「リメディアル科目」(修了認定対象外)、基礎的な知識の習得や農業経営アドバイザー資格取得を目標とした「実務基礎科目」、実践的な知識・技術を習得するための「実務実践科目」、応用的な知識・技術を習得するための「実務応用科目」を設置しています。

なお、「実践力基礎コース」及び「実践力強化コース」は、令和5年度に文部科学省「職業実践力育成プログラム(BP)」の認定を受けております。

※農業経営アドバイザー試験対応科目は、実践力基礎コース受講者及び農業経営アドバイザー試験受験者のみ受講可能です。

#### (2) 講義形式

「リメディアル科目」、一部の「実務基礎科目」については、遠隔(オンデマンド)での授業を実施します。その他の科目については原則対面実施となります。ただし、業務等によりやむを得ず欠席する場合には、遠隔(オンデマンド)による補講を行います。

※令和6年度より対面講義において紙媒体での資料配布を中止し、データにて事前配布いたします。受講時にパソコンを持参される方は学内無線LANの利用が可能ですので、ご希望の際は「LAN 端末接続申請書」を応募書類と併せて提出ください。本学においてノートPC(クロームブック)の貸出も可能ですので、受講決定後に利用希望者を確認させていただきます。

#### (3) 講師

本プログラムにおいては、農学、経営学や経済学等の専門家に加え、基幹産業が農業である地域で活躍する社会保険労務士や公認会計士などの実務経験者を実務家教員に招き、より実践的な知識・技術を教授します。そのため実際の地域農畜産現場で利活用可能な知識・技術を習得でき、本プログラムの受講者は農畜産経営および地域農畜

産業現場において、即戦力として活躍が可能となります。

(4) ネットワークの形成

本プログラムでは、農業経営アドバイザー資格の取得をサポートするための講師相談会、講師陣や履修者同士の交流等により、プログラム修了後もつながりの持てるネットワークの形成を支援します。

(5) 履修期間

令和6年9月2日(月)～令和7年2月28日(金)

※実務基礎科目のオンデマンド科目は、令和6年9月上旬から視聴を開始し、令和6年11月に実施する農業経営アドバイザー試験前日までであれば自由にオンデマンド受講可能です。同期間以外の受講はできません。

※詳細な視聴期間は、農業経営アドバイザー試験において詳細日程公開後にお知らせいたします。

(6) 実施時間・場所

平日18時～20時の実施を基本としますが、一部の授業科目については、フィールドワーク、集中講義等により終日又は半日の実施や土日の開講となる場合もあります。

〒080-8555 帯広市稲田町西2線11番地

国立大学法人北海道国立大学機構帯広畜産大学

(7) 開講式・ガイダンス、修了式

事前ガイダンス : 令和6年7月30日(火)18時～19時予定(オンライン開催)

※事前ガイダンスでは、プログラム科目の履修選択方法や授業システムの利用方法等について説明を行います。

開 講 式 : 令和6年9月2日(月)18時～19時予定(対面開催)

修 了 式 : 令和7年3月14日(金)18時～19時予定(対面開催)

(8) 修了要件

① コースの修了要件

本プログラムにおける授業科目の選択・必修区分は、「必修科目」、「選択科目」に分かれ、各コースを修了するためには、「必修科目」「選択科目」を合計60時間以上履修する必要があり、修了要件を満たした修了者には履修証明書を発行いたします。

なお、「リメディアル科目」につきましては、自由に履修いただくことが可能ですが、修了要件には含まれませんのでご注意ください。

必修科目	各コースで必ず履修が求められる科目
選択科目	各コースで定める一定数の選択履修が求められる科目

② 科目の修了要件

各科目の修了は、オンデマンド科目を除き、出席(対面)を基本的条件とし、レポート等により修了認定が行われます。万が一欠席した場合は、講義動画を視聴していただき、レポート等により修了認定が行われます。

※業務の都合等によるオンライン受講も認めますが、設備の関係上グループワーク等のディスカッションは参加できま

せんで予めご了承ください。

#### 4. コース

##### ① 実践力基礎コース

本コースは主に新規就農者、金融機関や農業団体の若手職員等を対象としています。

カリキュラムには日本政策金融公庫が実施する「農業経営アドバイザー」の資格取得に対応した実務基礎科目・8科目を設置しており、受講生は効率的な資格取得に向けた知識・技術の習得が可能となります。当該資格以外にも、農業会計や農業経営財務に係る授業科目が用意されていることから、農業簿記検定 2・3級の資格取得相当の知識が習得できます。また、実務実践科目・12科目を設置しており、上述の基礎的な知識だけでなく、実践的な知識・技術の習得も可能となっています。

※本コースの受講者は、農業経営アドバイザー資格試験の権利が自動的に付与され、11月に実施される試験に合格しますと、農業経営アドバイザー資格を取得することができます。試験の詳細については日本政策金融公庫のホームページをご覧ください。なお、資格試験終了後も、プログラムは継続します。履修期間中に60時間以上の科目を修了しない場合は、履修証明書が発行されませんのでご注意ください。

**履修要件:必修科目 36 時間、選択科目 24 時間以上**

科目一覧(実践力基礎コース)

必修科目	選択科目	
農業簿記・農業税務 I	基礎をかためる農業会計	ビジネスシーンでの RESAS 活用
農業経営診断・改善の進め方 I	農業税務集中講義	農畜ファイナンス(資金調達)
農業マーケティング I	SDGs 農畜産経営	儲ける農業経営(経営管理)
労務管理 I	アニマルウェルフェアと持続的な農	農業経営戦略・組織論
農地制度・農地所有適格法人 I	畜産業経営	マーケティング事例分析
農業・農村構造と農業政策 I	リスクマネジメント論	実践！農業の事業承継(ケーススタ
プレゼンテーション演習	企業戦略論	ディ)
農畜産経営を学ぶことの意義とはな	GAP で取り組む持続可能な農業経	経営改善に役立つ労務管理
にか？	営	ケーススタディに学ぶ農地制度
農業経営特別セミナー	導入できる！農場 HACCP	農業経営に活かす農業政策
経営改善フィールドワーク	AI と DX セミナー	

各科目のシラバスはプログラム HP よりご覧いただけます。

URL: [https://univ.obihiro.ac.jp/~agri-pro/tp\\_detail.php?c=kiso](https://univ.obihiro.ac.jp/~agri-pro/tp_detail.php?c=kiso)

##### ② 実践力強化コース

本コースは主に農家や農業法人の経営者、農業経営アドバイザー資格を既に取得している金融機関や農業団体の職員等を対象としています。

カリキュラムには実践応用科目・8科目、実務実践科目・12科目を設置しており、実務経験豊かな講師陣のケーススタディを中心とした講義内容や PBL(課題解決型学習)、グルーワークやグループディスカッション等により、思考力・課題解決能力を強化することで、学んだことがすぐに農業経営や営農指導等に利活用可能なカリキュラムとなっています。

**履修要件:必修科目 37 時間、選択科目 23 時間以上**

科目一覧(実践力強化コース)

必修科目	選択科目	
プレゼンテーション演習 農畜産経営を学ぶことの意義とはなにか？ 農業経営特別セミナー 経営改善フィールドワーク 農畜ファイナンス(資金調達) 儲ける農業経営(経営管理) 経営改善に役立つ労務管理 ケーススタディに学ぶ農地制度	基礎をかためる農業会計 農業税務集中講義 農業簿記・農業税務 I 農業経営診断・改善の進め方 I 農業マーケティング I 労務管理 I 農地制度・農地所有適格法人 I 農業・農村構造と農業政策 I SDGs 農畜産経営 アニマルウェルフェアと持続的な農畜産業経営	リスクマネジメント論 企業戦略論 GAP で取り組む持続可能な農業経営 導入できる！農場 HACCP AI と DX セミナー ビジネスシーンでの RESAS 活用 農業経営戦略・組織論 マーケティング事例分析 実践！農業の事業承継(ケーススタディ) 農業経営に活かす農業政策

各科目のシラバスはプログラム HP よりご覧いただけます。

URL: [https://univ.obihiro.ac.jp/~agri-pro/tp\\_detail.php?c=kyouka](https://univ.obihiro.ac.jp/~agri-pro/tp_detail.php?c=kyouka)

※: 農業経営アドバイザー試験対応科目となりますので、「志願書」で農業経営アドバイザー試験を受験しないと選択した方は受講することができませんので、予めご了承ください。

## 5. 申込手続き

### (1) 応募資格

以下のとおり、大学入学試験の条件を充たす者。

- ① 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者
- ② 通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者又は通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者
- ③ 外国において学校教育における 12 年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
- ④ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- ⑤ 専修学校の高等課程(修業年限が 3 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- ⑥ 文部科学大臣の指定した者
- ⑦ 高等学校卒業程度認定試験規則(平成 17 年文部科学省令第 1 号)による高等学校卒業程度認定試験に合格した者(同規則附則第 2 条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程(昭和 26 年文部省令第 13 号)による大学入学資格検定に合格した者を含む。)
- ⑧ 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、18 歳に達したもの

## (2) 募集人数

20名程度(各コース10名程度)

※応募者が多数の場合は、応募書類による審査を行います。

## (3) 受講料

15万円

※1. 科目によってはシラバスで参考図書を案内しております。こちらの参考図書の購入は任意となっており、受講料には含まれておりませんので、ご注意ください。

※2. 支払方法については、選考結果通知後にご連絡いたします。

## (4) 申込期間

令和6年6月10日(月)～令和6年7月12日(金)【必着】

## (5) 応募書類

①様式1「志願書」

②様式2「履歴書」

③様式3「農業経営に関する企画書」

④様式4「LAN端末申請書」(大学で自身のPC利用を希望される方のみ)

⑤承諾書(所属先より派遣される方のみ・自由様式)

※提出された応募書類は、返還しませんのでご了承下さい。

※様式3「農業経営に関する企画書」は、受講者選考の際の資料とするほか、プログラム初回に実施する「プレゼンテーション演習」での発表資料として活用いただきます。

## (6) 提出先

応募書類に必要な事項を全て記入し、メールで提出して下さい。また、応募書類は本プログラムのホームページから取得して下さい。

〒080-8555 帯広市稲田町西2線11番地

国立大学法人北海道国立大学機構帯広畜産大学 教務課社会人教育係

農畜産プロフェッショナル経営人材育成プログラム事務局 坂本宛

TEL:0155-49-5325 E-mail:rec\_kyoumu@obihiro.ac.jp

HP: <https://univ.obihiro.ac.jp/~agri-pro/>

## 6. 選考方法・日程

応募書類にて審査を行い、令和6年7月下旬頃に、メールでお知らせします。

## 7. 講義スケジュール

令和6年度農畜産プロフェッショナル経営人材育成プログラム「カリキュラム年間スケジュール」をご参照下さい。

## 8. 個人情報の取り扱いについて

- ①帯広畜産大学が保有する個人情報は、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」等の法令を遵守するとともに、「国立大学法人北海道国立大学機構保有個人情報管理規程」に基づき、保護に万全を期しています。
- ②応募時にお知らせいただいた氏名、住所等の個人情報については、受講者選抜、受講可否の連絡等、本学リカレント教育の案内業務を行うためにのみ利用します。
- ③講義等をより効果的にするために、講師及び受講生へ所属機関・氏名を提供することがあります

## 9. 問い合わせ先

〒080-8555 帯広市稲田町西2線11番地

国立大学法人北海道国立大学機構帯広畜産大学 教務課社会人教育係

農畜産プロフェッショナル経営人材育成プログラム事務局 担当:坂本

TEL:0155-49-5325 E-mail:rec\_kyoumu@obihiro.ac.jp